

「人が集い、ともに支えあい、絆をはぐくむまち」

を実現するために令和5年度に北区が力を入れて取り組む特色ある事業をご紹介します

安全で安心できるまちづくり

防災マニュアルの策定や防災訓練の実施を通じて、マンション内のコミュニティの形成を支援する。

- マンションコミュニティづくりの支援 事業費:434万円



地域福祉と子育て支援

地域福祉コーディネーター・コミュニティソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携して支援する。不登校やひきこもり等の課題を抱える家庭に対し、スクールソーシャルワーカー等を活用し各支援機関と連携して支援する。

- 住民主体の福祉コミュニティづくりの支援 事業費:3,298万円
- 子育て支援事業 事業費:5,735万円



未来につなげる人材育成

中学校部活動に対し、各分野の専門家を派遣するとともに、区内小・中学生を対象にクラシック等の芸術鑑賞会を通じ、本物に触れる機会を提供し、本格的な施設等を活用したイベントや職業講演会を開催することにより、自分の夢や目標を見つけ出し、未来につなげる人材育成を行う。

- 部活動の支援や芸術鑑賞会 事業費:4,657万円



放置自転車対策

放置自転車の多い場所・時間帯に、啓発指導員を集中して配置し、自転車利用マナーの啓発や空いている駐輪場への案内を行うとともに、地域に応じた放置自転車対策を、各機関と連携して総合的かつ効果的に推進する。

- 放置自転車対策事業 事業費:2,138万円



「夢キタ万博2023」の開催

官民連携により、各企業等の強みを活かし、万博テーマに沿った新たなアイデアを創造・発信するブースを「パビリオン」等としたイベントを実施する。また、イベントでは、出展者と参加者が交流できる仕掛けを取り入れ地域力の強化を図るとともに、ファッションデザイン体験など、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向け発信し、地域全体で万博への認知度・関心度を向上させる。

- 万博に向けた機運醸成の取組 事業費:1,700万円



☎ 政策推進課 ☎ 06-6313-9976 FAX 06-6362-3821

令和5年度の予算の詳細は北区ホームページ▶



4月9日(日)は統一地方選挙の投票日です

地方選挙は、私たちの生活に密着した最も身近な選挙であり、今後の市政・府政の進路を決める重要な選択の機会です。有権者の皆さん、必ず投票しましょう。当日、投票に行けない方は期日前投票・不在者投票をしましょう。



- 期日前投票・不在者投票 投票日に仕事やレジャーなどの予定がある方は、名簿登録地の区役所等で期日前投票ができます。

🕒 ~4/2(日) 8:30~20:00
4/3(月)~8(土) 8:30~21:00
📍 北区役所1階区民交流プラザ

●選挙公報

選挙公報は、大阪市選挙管理委員会ホームページからもご覧いただけます。



HPIはこちら▶

📞 北区選挙管理委員会

☎ 06-6313-9626

FAX 06-6362-3821

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑬

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献をめざす大阪・関西万博に向けて、みんなで取り組む「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジから北区での活動をご紹介します。



社長の島村雅晴さん

RelationFish株式会社

TEAM EXPO 2025 アイゴ養殖から考える「持続可能な食の未来」

この春も大阪湾のイカナゴは不漁です。サンマやマグロなどの漁獲高も減る一方。危機感を持った関西の料理人や食の関係者が、持続可能な食の未来を考えようと結成した「いただきますを考える会」を母体に、質の高い養殖魚の生産に乗り出すために、2022年に設立したのがRelationFish株式会社です。初年度は温暖な海域に生息するアイゴの養殖に向けて近畿大学水産研究所との共同研究などをしました。懐石料理店「雲鶴」(天満1)店主の島村雅晴さんが社長を務めています。

⑬ 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する《SDGsチャレンジ》魚は海の恵み。「いただきます」の気持ちを大切に味わおう

アイゴというあまり知られていない魚を選んだのはSDGsの視点からでした。

アイゴは釣れても商品としてはほとんど流通していません。海藻を食べて育つため、独特の臭いがあるからです。が、和歌山で育ち、よくアイゴを釣り上げた島村さんは「新鮮なうちに内臓を出せば臭いはなく、淡白な白身を美味しく味わえる魚です」と話します。「価値がないと思って雑に扱うから味が落ち、味が落ちるから見向きもされない悪循環。生産、流通、料理、販売などいろいろな方とつながって、アイゴ本来の価値を活かしたい」



アイゴはこんな魚です

人口増加で将来は地球規模のたんぱく質不足が心配される中、アイゴの養殖は環境負荷が小さいのも利点。マグロを1キロ太らせるには餌に10~15キロの小魚が必要ですが、雑食性で主に植物が餌のアイゴなら野菜くずなども利用できます。



淡白な味わいを活かしたアイゴと野菜の炊き合わせ

昨年10月に市内で開いたシンポジウムは満員の盛況。料理人たちが腕を振ったアイゴ料理の試食もありました。社名の通り、魚を通じてつながりを広げ、みんなで食の未来を拓くことをめざしています。

RelationFish株式会社 天神橋1-18-17

問合せは RelationFish株式会社 ホームページから▶



共創チャレンジ・RelationFish株式会社 ページ▶



あなたの夢は? 心に寄りそう歌詞と歌声で 武道館に立つアーティストへ



弾き語りをするマユさん

滝川出身の歌手です。愛称は「マユしい」。実体験を元にした歌詞と透明感のある歌声で、聴く人に元気を与えられる歌手をめざしています。

北稜中学校(天満橋1)を2014年に卒業後、市内の高校に進学、軽音楽部に入部し、バンドのギター・ボーカルとして作詞も始めました。ももとの憧れは声優でした。高校卒業後は夢を追って専門学校に通いましたが、バンド活動は続けていました。「『マユの歌を聞いたら元気になる』との友人の言葉が忘れられなくて」

バンドはメンバーの就職を機に解散。その頃、親交のあるライブハウスの代表に誘われ、アイドルグループ「神薙(かんなぎ)ラビッツ」の創立メンバーとして2019年にデビューしました。約1年半の活動後、「等身大の自分の言葉で歌を届けたい」と歌手に転身。昨年11月にはデビューシングル『どこまでもいつまでも』、今年2月に2枚目のシングル『夢の中』をリリースしました。近畿を拠点にライブハウスやSNSで活動の場を広げています。

2月16日には母校の北稜中を訪問し、昼休みの校内放送「生徒会ラジオ」にゲスト出演しました。オリジナル曲に加え、生徒会長を務めた在学中のエピソードや歌い続ける理由を紹介。「今やりたいことが見つからなくても焦らなくて大丈夫。その葛藤も将来の糧になる」と在校生にエールを送りました。

夢は憧れの日本武道館のステージに立つこと。「でもホームはいつまでも地元の小さなライブハウス。誰かが歌を必要とした時にふと思い出してもらえような、一人ひとりの心に寄り添える歌手になりたいです」

- ライブ情報...4/7(金) 19:00~(18:30開場) 中津StepHALL(中津1)



2月16日、北稜中の放送室で。昼休みの校内放送「生徒会ラジオ」に生出演しました

ライブ情報などの詳細はマユさんのInstagram▶

北区の魅力は? 人が集まるイベントの多さ

